

■インド：再エネ発電目標を達成できず

環境 NGO のグリーンピースインドは 2013 年 4 月 23 日、2012 年度（2012 年 4 月－2013 年 3 月）の発電電力量に占める再生可能エネルギーの割合を 7%とする目標について、実際は 5%に留まったという調査結果を明らかにした。インド政府は 2008 年に策定した国家気候変動行動計画（NAPCC）に基づき、再生可能エネルギー発電の割合を 2010 年時点の 5%から毎年 1%ずつ上昇引き上げ、2020 年までに 15%とする目標を掲げている。これを達成するため、各州の規制機関が配電会社による再生可能エネルギーの調達義務量を設定したが、29 州のうち 22 州で未達成となった。目標が達成できなかった要因として、州ごとに再生可能エネルギーの調達義務制度が整備されたが、目標未達成の場合の罰則が設定されていないものが大半であること、州の設定目標が実現不可能なものが多いこと、調達義務制度と同時に導入された再生可能エネルギー証書取引が発電所の新設を促すのに有効に機能しなかったこと等が挙げられている。